名古屋YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.791 2023

YMCA News 11

2023年11月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 渡邉 りいこ

YMCAとワイズメンズクラブ

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区理事　深谷　聡
（公財）名古屋YMCA理事・名古屋ワイズメンズクラブ

子どもの頃から南山YMCAでキャンプやサイクリングリーダーとしてお世話になりました。YMCAとのお付き合いは半世紀以上となります。私の様な放蕩息子と向かい合い指導をして頂いた主事の方々、リーダーの皆様に感謝を申し上げます。

両親がワイズメンでしたが、当時ワイズメンがYMCAで何をしているかのか良く分かりませんでした。家に戻ると父が床一杯に濡れた古切手を乾燥させており、何の為にと質問をすると『この古切手１枚でポリオで苦しむ人に寄り添える。これもボランティア活動』との返答でした。そしてその言葉は私のYMCA活動の原点となりました。

学生時代にYMCAのフィリピンワークキャンプに参加させて頂き、灼熱の太陽の下でスコップとツルハシでフィリピンの仲間とプール建設、植樹、医療活動を行いました。水道は無く村には１台の手動ポンプがあるだけで、その水も日本からのメンバーの飲料にはなりませんでした。それでも早朝の井戸端での村の方々との交流は楽しく、フィリピンを知る上で大きな経験となりました。普段は煮沸をして紅茶で喉の渇きを潤わせておりましたが、連日35度以上の猛暑で冷たい飲料を欲しても冷蔵庫も無く苦労をしました。そんな中、地元と日本のワイズメンの方々が冷たいジュースをキャンプ地まで、わざわざ差し入れとして持って来て頂けた事に心から感銘を受けました。そのお一人が名古屋グランパスワイズメンズクラブの現会長阿部一雄さんのお父上、故阿部美男氏でありました。今でもあの時のコーラの味は忘れる事ができません。

また、日韓ユースセミナーにも参加させて頂きました。この交流事業は1964年から始まり、今年で59年目を迎えた歴史的なプログラムです。1978年からは名古屋ワイズメンズクラブと韓国聖岩ワイズメンズクラブとのIBC（International Brother Club）締結をきっかけに、両国の悲しい歴史を繰り返さぬ様、将来の平和を実現させる為のユースプログラムとして位置づけられました。今年は3年ぶりに対面での交流再開となり、日本から3名のユースが参加をしました。両国の参加者からは『互いを知り合えた喜び』『相手の国を尊敬をする事ができる様になった』と、希望のある感想を頂いております。

ところで、『ワイズとYMCAは車の両輪』というワイズメンの先輩の言葉があります。ワイズがYMCAに寄り添う、またその逆もあります。ワイズメンズクラブの活動は、大きく分けると1）社会奉仕2）YMCAサービス3）国際交流4）EMC（会員増強）の4つがあります。それぞれのクラブが1年単位の活動を計画し実践します。そして互いに讃えあい、その喜びを次の計画に繋げます。現在世界YMCA同盟では、YMCAとワイズメンズクラブの関係を『ミッションパートナー』と位置づけています。全てを互いに委ねるだけでは無く、互いを認め合い、それぞれの組織でプログラムを計画し、行動をする。互いを求める時には双方でそのプログラムを分担し、成功に導く。『みつける、つながる、よくなっていく』の精神です。我らYMCA & ワイズメンは国籍、宗教、性別を問いません。私達の根幹に流れる精神である『隣人に寄り添う』を胸に、活動は日本のみならず世界へと広がります。世界のどこでもYMCAがある所にはワイズメンが存在するのです。

プログラムを実践するためにYMCA&ワイズメンズクラブそれぞれに役割があります。また、人的・財政的な援助も必要でしょう。計画が成功する様にお互いに力を合わせましょう。そして、私たちの活動を通じて『隣人に寄り添う』喜びを共有したいと思います。将来のYMCA & ワイズメンズクラブの発展に寄与出来る様にと祈ります。

ワイズメンズクラブ西日本区　第 27回中部部会

現在、名古屋には名古屋クラブ、名古屋東海クラブ、名古屋グランパスクラブの3つのクラブがあり、北陸の金沢クラブ、とやまクラブを加えてワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部を組織しています。

その中部の第27回部会が、ようやく秋らしくなった9月23日(土)アイリス愛知にて名古屋東海クラブのホストで開催されました。中部5クラブからは45名、西日本区からは21クラブより41名、合計86名の参加を得て開催されました。今回のプログラムの中心は何と言っても2部の里見まさと氏(ザ・ぼんち)の講演「戦艦大和と乗組員」でした。実際に大和に乗船し、戦禍の中を生還された八杉康夫氏から聞き取りされた実話には心を打たれました。講演の受け止め方は様々だと思いますが、参加の皆様に何かが残れば幸いでした。その後の親睦会では大いに食べ、飲み、語りワイズメンズクラブの醍醐味、メンバー同士の交わりを深めました。

中部の5クラブは、それぞれのクラブの特色を活かした独自の活動をする一方、YMCAの行う奉仕事業を直接的・間接的にサポートしています。そしてメンバー同士の交わりを大いに楽しんでいます。

(ワイズメンズクラブ西日本区中部部長　松本 勝)

保育園・幼稚園から

YMCAかみさわ保育園の運動会

去る10月14日(土)、天候にも恵まれ、コロナ禍には叶わなかった大勢の方々の温かい声援に囲まれながら、かみさわ保育園の運動会を行うことができました。運動会に向けての取り組みを行う中で、子どもたちは仲間と協力する難しさ、勝ちたい気持ち、負けて悔しい気持ちなど様々な感情を経験しながら、少しずつ気持ちを高め、そして迎えた当日は『頑張るぞ!!』と気合に満ちた子、緊張で胸がいっぱいでドキドキの子と、様々な姿が見られました。

お家の方には、運動会を通じて子どもたちが精一杯がんばる姿を見ていただけました。そして保育士もともに、子どもたち一人ひとりの成長を感じることができたことをとても嬉しく思います。

運動会で得た、“仲間と力を合わせて最後まで頑張ることができた”という経験を自信につなげ、これからますます成長していく子どもたちのことがとても楽しみです。　(保育士　園原 里彩)

南山幼稚園運動会「らんらんデー」

南山幼稚園では学年別に10月5日と7日、運動会「らんらんデー」を行いました。神さまからいただいた“体と心”をらんらんと弾ませる時となりますようにと名付けられた「らんらんデー」ですが、その名のとおり躍動する子どもたちの姿を見る事ができました。例年通り慣れ親しんだ園庭で、緊張せず伸びやかに子どもたちがこの日を過ごす事ができ、感謝の時となりました。また、今年は未就園児対象のプログラムを復活させたので、南山幼稚園の雰囲気に親しんでもらう機会にもなりました。

学年毎の子どもたちの姿に「成長させてくださるのは神です。」(コリントの信徒への手紙 I 3:6)の聖句を思い起こす時を過ごしました。　(園長　済田 真美)

2023 世界 YMCA / YWCA 合同祈祷週

‘From seed to blossom’: Cultivating hope and love

「種から花へ~手を取り合って、希望と愛を育てましょう」このテーマのもと、今年も名古屋で合同祈祷週が行われます。

今夏、名古屋YMCA・YWCAともに、久しぶりに韓国スタディツアーを開催しました。そのツアーに参加したユースが、合同祈祷週の特別集会の場でその時の活動を報告します。現場で感じたさまざまなことや「希望と愛」について、ユースだからこその視点で語ってくれることでしょう。

たくさんの方のご参加をお待ちしています。　（担当スタッフ　清水 美佐子）

プログラム

第1部　礼拝　「育ててくださる神」
辻 順子牧師（日本基督教団鳴海教会）

第2部　交流会　韓国スタディツアー報告
名古屋YMCA / YWCA活動紹介

日時　11月18日（土）10:00~11:30

会場　名古屋YWCA（新栄町）2階

お申し込み・お問合せ

11月15 日（水）申込締切。参加無料（どなたでもご参加いただけます。オンライン参加も可能です）

下記連絡先の担当:清水または遠藤まで

メール:info@nagoyaymca.org

TEL: 052-831-6968（南山）/052-757-3331（本館）

総主事コラム

あなたに平和がありますように
～シャローム～

旧約聖書にシャロームという言葉があります。一般的には平和と訳す事が多いのですが、ヘブル語のシャロームの本来の意味は、単に、争いのない、平和な状態を表わすだけでなく、力と生命に溢れた動的な状態をいいます。シャロームが意味するものは、無事、安否、平安、健康、繁栄、安心、親和、和解、実に豊かです。（2015年10月総主事コラムより）誰もが平和を願う世界にあって、ロシアによるウクライナ侵攻が行われました。世界は争いによる悲惨な状況を目の当たりにしました。しかしまたイスラエルによるガザ地区への攻撃が行われ、多くのパレスチナ市民が犠牲になっています。これが今、地球上で行われている事実です。

1923年9月1日関東大震災が発生し10万人以上の尊い命が失われました。その中には震災による被害ではなく「朝鮮人が放火、略奪を行っている」「朝鮮人が井戸に毒を入れた」等のデマにより警察や一般市民に虐殺された、何の罪のない多数の朝鮮の方が含まれています。（THE YMCA2023年9月号参照）2023年9月、この紛れもない事実を松野博一官房長官は「事実関係を把握できる記録が、政府内に見当たらない」と発言しました。戦時下で理性を失い事実を歪曲するよりも、日本ははるかに危険な状況にあると言えます。イスラエルの公用語はヘブライ語（ヘブル語）。そして挨拶の言葉はシャロームです。すべての方に平和がありますように祈ります。

（中村 隆）

2023年度 YMCA国際協力街頭募金実施報告

10月を国際協力月間とし、国際協力募金を実施しました。各館設置の募金箱や振り込みでの募金とともに、各館窓口には平和を願うメッセージやイラストの入った募金封筒を多くご持参いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

その一環として、10月15日（日）に実施した街頭募金には多くの子ども会員と保護者様、ワイズメンズクラブの皆様、リーダー、スタッフにご参加いただきました。栄エリアと金山エリアの二箇所で実施し、栄エリアでは68,808円、金山エリアでは42,545円の、合計111,353円の募金をいただきました。掛け声を合わせながら一生懸命募金を呼びかける姿に多くの方が足を止めて募金をしてくださいました。

いただいた募金は、ウクライナ避難者支援やアジア地域の子どもたちの支援など、日本YMCA同盟を通した国際協力のほか、日韓ユースセミナー、フィリピン

キャンプなど、名古屋YMCAの国際協力に用いさせていただきます。

募金くださった皆様、募金活動にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

（担当スタッフ　平 真輝）

維持会員感謝・ご寄付感謝　（2023年9月22日～10月25日）

維持会員（継続）　髙橋　榮一　鈴木　賢治　林　左希也　渡辺　孝　浅野　猛雄　松本　勝　松本　淳子

寄付金・募金　＊国際協力募金協力者名は12月号に一括掲載させていただきます。

（学童キャンプ支援）　小尾　雅彦　小尾　昌代　荒川　恭次　中村　隆　橋本　啓　多湖みずほ

（チャリティーラン支援）　川本　龍資　尾國　尚二　三木まゆみ　渡辺　真悟　㈱アライブ　名古屋ワイズメンズクラブ　游神会　株式会社三祐コンサルタンツ　三菱商事株式会社　近藤産與株式会社　名古屋ロードサービス株式会社　株式会社名エングループ本社　株式会社川本電産　六合株式会社

（一般寄付）　野村　靖子（野村秋博召天記念として）　株式会社システックサービス（クリスマスキャロル支援）

早天祈祷会

日　時　11月7日（火）7:45～8:30
会　場　名古屋YMCA5Fチャペル
奨　励　日本基督教団 中京教会　稲田 勝之 牧師

ワイズコーナー　11月例会の予定

名古屋	11月14日(火) 18:45～	日韓ユースセミナー報告会	名古屋 YMCA
名古屋 東海	11月 9日(木) 18:45～	卓話:テーマ「名古屋の和菓子」 講師:河藤 誠紀氏（宗家 源吉兆庵社長）	ラ・スース ANN
名古屋 グランパス	11月 1日(水) 18:30～	卓話:～多文化共生にかけるおもい～ 講師:名古屋YMCA日本語学院 犬飼 英男先生	名古屋 YMCA

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021
かりやYMCA保育園	0566-62-8227

https://nagoyaymca.org

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2023年度聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」（イザヤ書43章19節）